

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市民会館	千葉市文化センター
条例上の設置目的	千葉市民会館設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり市民会館を設置する。	千葉市文化センター設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり文化センターを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	当該施設における実演芸術の鑑賞を通じて、文化に対する市民の興味を喚起し、さらに理解を深めるとともに、文化団体等の大規模な発表の場として、市民の文化芸術活動を支援していくこと。	本市の文化芸術における拠点施設として、市内の文化芸術に関する情報を収集・発信するとともに、相談業務や交流の場の創出や長期継続的な取り組みによる実演芸術の創造事業等を行うことにより、市民の多様な活動を支援すること。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	【文化芸術鑑賞の中心的役割】 ・創造性、企画性が高く利用者等のニーズに対応した実演芸術の公演の提供 ・文化芸術活動の大規模な発表の場 ・継続的な施設利用を可能とするための老朽化した施設の適切な維持管理	【市の文化振興の拠点】 ・長期継続的な取り組みによる実演芸術の創造 ・市の文化を担う人材の育成 ・文化芸術の情報集積・発信、交流基地
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度の導入による市民サービスの向上により、さらに多くの市民に利用してもらうという効果を見込んでいる。 市民会館では、突発的な修繕への柔軟な対応等老朽化した施設の適切な管理を、文化センターでは、市の文化振興の拠点施設としての役割の発揮をそれぞれ期待している。	
成果指標※	① 施設利用者数(楽屋除く) ② 使用件数(楽屋除く) ③ 実演芸術の公演本数 ④ 施設稼働率(楽屋除く) ⑤ 大ホール稼働率	① 施設利用者数(楽屋除く) ② 使用件数(楽屋除く) ③ 施設稼働率(楽屋除く) ④ ホール稼働率 ⑤ アーティストバンク登録者数
数値目標※	① 363,000人以上 ② 4,400件以上 ③ 31本以上 ④ 59%以上 ⑤ 平日 59%以上 土日祝 79%以上	① 226,000人以上 ② 4,100件以上 ③ 45%以上 ④ 平日 46%以上 土日祝 76%以上 ⑤ 令和7年度20%増（令和元年度比）
所管課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市文化振興財団
主たる事業所の所在地	千葉県千葉市中央区中央 2 - 5 - 1
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日（5 年）
選定方法	非公募
非公募理由	劇場法の要求を満たすべく、本市の文化振興の拠点施設を運営していくためには、長期継続的に市と一体となって文化施策を推進する役割を指定管理者が担う必要があるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

（１）成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 市民会館

成果指標	数値目標※	R 7 年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	3 6 3, 0 0 0 人以上	297, 226 人	81. 9%
② 使用件数（楽屋除く）	4, 4 0 0 件以上	3, 343 件	76. 0%
③ 実演芸術の公演本数	3 1 本以上	28 本	90. 3%
④ 施設稼働率（楽屋除く）	5 9 % 以上	46. 3%	78. 5%
⑤ 大ホール稼働率	平 日 59% 以上	60. 9%	103. 2%
	土日祝 79% 以上	80. 3%	101. 6%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

イ 文化センター

成果指標	数値目標※	R 7 年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	1 9 2, 0 0 0 人以上	127, 934 人	66. 6%
② 使用件数（楽屋除く）	3, 5 0 0 件以上	2, 510 件	71. 7%
③ 施設稼働率（楽屋除く）	4 5 % 以上	31. 8%	70. 7%
④ ホール稼働率	平 日 46% 以上	37. 6%	81. 7%
	土日祝 76% 以上	74. 6%	98. 2%
⑤ アーティストバンク登録者数	15 件/年・5 年間合計 75 件 （【市設定】令和 7 年度 20% 増 （令和元年度比）373 件*20% = 74. 5 件）	23 件	153. 3%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。なお、「施設利用者数（楽屋除く）」及び「使用件数（楽屋除く）」は、令和 7 年度の工事に伴う休館を除いた数値目標とした。

（２）その他利用状況を示す指標

指 標	R7 年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R 7 年度	【参考】 R 6 年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	385,428	357,536	実績－計画	0	
	計画	385,428	357,536	計画－提案	9,857	業務委託等的人件費上昇に伴う増
	提案	375,571	382,940			
利用料金収入	実績	123,549	100,934	実績－計画	△ 36,022	文化センター工事休館に伴う減
	計画	159,571	158,789	計画－提案	0	
	提案	159,571	158,789			
その他収入	実績	5,147	2,485	実績－計画	△ 5,200	市民鑑賞公演を買取型から共同主催への見直し等による減
	計画	10,347	6,566	計画－提案	△ 8,763	企画提案業務の入場料収入の見直しによる減
	提案	19,110	19,110			
合計	実績	514,124	460,955	実績－計画	△ 41,222	
	計画	555,346	522,891	計画－提案	1,094	
	提案	554,252	560,839			

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R 7 年度	【参考】 R 6 年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	263,512	247,269	実績－計画	△ 969	人事異動による減
	計画	264,481	260,537	計画－提案	△ 1,927	人員構成の差
	提案	266,408	272,895			
事務費	実績	80,381	79,031	実績－計画	△ 7,664	光熱水費の減
	計画	88,045	69,874	計画－提案	1,678	光熱水費の増
	提案	86,367	87,019			
管理費	実績	13,430	15,447	実績－計画	△ 178	経費の見直し
	計画	13,608	13,608	計画－提案	△ 2,924	修繕費の減
	提案	16,532	16,532			
委託費	実績	154,915	143,750	実績－計画	△ 3,749	文化センター工事休館に伴う清掃業務等の減
	計画	158,664	156,082	計画－提案	10,292	業務委託等的人件費上昇に伴う増
	提案	148,372	147,820			
その他事業費	実績	14,481	8,680	実績－計画	△ 6,650	市民鑑賞公演を買取型から共同主催への見直し等による減
	計画	21,131	13,375	計画－提案	△ 6,027	企画提案業務の事業規模の見直し
	提案	27,158	27,158			
間接費	実績	8,663	8,587	実績－計画	△ 754	経費の見直し
	計画	9,417	9,415	計画－提案	2	
	提案	9,415	9,415			
合計	実績	535,382	502,764	実績－計画	△ 19,964	
	計画	555,346	522,891	計画－提案	1,094	
	提案	554,252	560,839			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

【提案】
 (市民会館) 12,897千円×33%＝4,256千円 (文化センター) 12,897千円×40%＝5,159千円
 ※算定根拠
 令和3年度経常収益積算額に占める指定管理料及び利用料金等の合計金額の割合で按分した金額を算定根拠とした。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R 7 年度	【参考】 R 6 年度
自主事業収入	実績	2,749	1,922
その他収入	実績		
合計	実績	2,749	1,922

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R 7 年度	【参考】 R 6 年度
人件費	実績	1,734	1,646
事務費	実績	970	796
管理費	実績		
委託費	実績		
使用料	実績	151	151
事業費	実績		
利用料金	実績		
その他事業費	実績		
間接費	実績		
合計	実績	2,855	2,593

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R 7 年度	【参考】 R 6 年度
必須業務	収入合計	514,124	460,955
	支出合計	535,382	502,764
	収 支	△ 21,258	△ 41,809
自主事業	収入合計	2,749	1,922
	支出合計	2,855	2,593
	収 支	△ 106	△ 671
総収入		516,873	462,877
総支出		538,237	505,357
収 支		△ 21,364	△ 42,480
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

ア 市民会館

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数（楽屋除く）	D	コロナ禍以降、特に会議室において利用が回復しないことによる減
使用件数（楽屋除く）	D	コロナ禍以降、特に会議室において利用が回復しないことによる減
実演芸術の公演本数	C	
施設稼働率（楽屋除く）	D	コロナ禍以降、特に会議室において利用が回復しないことによる減
大ホール稼働率	C	平日と土日祝の達成率の平均値により評価（平均値：102.4%）

イ 文化センター

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数（楽屋除く）	D	R6の休館以降、利用者が他施設から戻りきらないことによる減
使用件数（楽屋除く）	D	R6の休館以降、利用者が他施設から戻りきらないことによる減
施設稼働率（楽屋除く）	D	R6の休館以降、利用者が他施設から戻りきらないことによる減
ホール稼働率	C	平日と土日祝の達成率の平均値により評価（平均値：90.0%）
アーティストバンク登録者数	A	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	業務委託等 person 費に対する指定管理料の増額は除き、選定時の提案額と同額として評価

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

ー：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	市民の平等利用の確保	C	C	
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
(1) 人的組織体制の充実	管理運営の執行体制	C	C	
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	施設の保守管理	C	C	
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
(1) 幅広い施設利用の確保	開館時間・休館日	C	C	
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	利用者への支援	C	C	
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	施設の事業の効果的な実施	C	C	
	自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
アーティストバンクのマッチング活動などについて、結果を可視化できるよう検討されたい。	令和6年度	アーティストバンクについては登録者だけでなく、紹介・斡旋者数を把握しており、令和8年度以降は数値目標として設定した。 また、個々のマッチング活動の可視化として、アーティストバンクへの出演依頼を受付けた際には、依頼者から詳細な希望の聞き取りを行い、受付カードを作成している。受付カードには、紹介結果の記載とともに、紹介から結果までの間の過程も記載するようしており、次の紹介を行う際の資料として活用している。
市の文化芸術振興計画と一体となって事業を実施することを検討されたい。	令和6年度	第3次千葉市文化芸術振興計画の進行管理として実施する事業評価を通じて、計画に沿った取組となるよう事業を推進していく。
備品の安定的な維持管理に努められたい。	令和6年度	備品が適切に使用できるよう日々不具合箇所を確認し、不具合を確認した場合はすみやかにメンテナンスを行うとともに、経年劣化しているものなど必要に応じて修繕を行い、利用者が安心して安全に利用ができるように努めている。

6 ユーザーニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用者アンケート（利用申請者（主催者）に対し用紙を配布） 来場者満足度・事業アンケート（企画提案事業の来場者（来館者）に対し用紙を配布）
	回答者数	市民会館 利用者77件 来場者延べ195件 事業延べ5件 文化センター 利用者125件 来場者延べ134件 事業延べ15件
	質問項目	利用者「利用施設」「利用回数」「初回利用時の情報源」「利用内容」「利用手続きの満足度」「職員対応の満足度」「空調・清掃の満足度」「備品の満足度」「今後のご利用」 来場者満足度「清潔感」「設備」「スタッフ対応」 事業「公演情報の入手先」「居住地」「年齢層」「参加理由」「入場料」「満足度」
結果	○事業報告書「アンケート結果報告」施設利用者アンケート集計結果報告 市民会館 77件 「利用施設」会議室1～7 39.0%、特別会議室2 31.1%、大ホール15.6%、小ホール14.3% 「利用回数」4回目以上66.7%、2回目17.9%、3回目7.7%、初めて7.7% 「初回利用時の情報源」財団HP 43.3%、千葉市HP30.0%、知人より26.7%、その他0% 「利用内容」会議33.8%、講演会20.8%、教室・サークルの練習や活動14.3%、コンサート11.7%、 教室・サークルの発表会9.1%、式典9.1%、演劇・ミュージカル0%、その他1.2% 【利用手続きの満足度】96点、【職員対応の満足度】96点、【空調・清掃の満足度】95点、 【備品の満足度】96点、【今後のご利用】86点、【平均】94点	
	文化センター 125件 「利用施設」会議室Ⅰ～Ⅴ19.2%、ホール15.2%、セミナー室15.2%、リハーサル室Ⅱ11.2%、 市民サロン10.4%、スタジオⅠ9.6%、スタジオⅡ8.0%、リハーサル室Ⅰ6.4%、 和室4.8% 「利用回数」4回目以上84.0%、初めて12.8%、3回目1.6%、2回目1.6% 「初回利用時の情報源」知人より60.8%、財団HP35.2%、千葉市HP3.2%、その他0.8% 「利用内容」会議26.4%、教室・サークルの練習や活動23.2%、教室・サークルの発表会13.6%、 個人の練習8.0%、コンサート4.8%、舞踊4.0%、式典4.0%、講演会1.6%、 演劇・ミュージカル1.6%、その他12.8% 【利用手続きの満足度】93点、【職員対応の満足度】95点、【空調・清掃の満足度】93点、 【備品の満足度】91点、【今後のご利用】86点、【平均】91点	
	○事業報告書「来場者満足度アンケート集計結果」 市民会館 195件 フォーシーズンコンサート 1回目【施設の清潔感や清掃状況】74.1点、【施設の設備】60.0点、【スタッフの対応】72.6点 2回目【施設の清潔感や清掃状況】82.7点、【施設の設備】69.2点、【スタッフの対応】76.5点 3回目【施設の清潔感や清掃状況】72.4点、【施設の設備】66.6点、【スタッフの対応】72.2点 4回目【施設の清潔感や清掃状況】72.8点、【施設の設備】63.3点、【スタッフの対応】77.7点 千葉市文化センター 134件 ・伝統文化体験 【施設の清潔感や清掃状況】83.3点、【施設の設備】86.4点、【スタッフの対応】89.7点 ・レクチャーコンサート フルートの魅力 【施設の清潔感や清掃状況】72.3点、【施設の設備】70.3点、【スタッフの対応】73.8点 ○事業報告書「事業アンケート集計結果」 市民会館：5件 文化センター：15件 別紙のとおり	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
市民会館 ・エレベーターが直って良かった。	1階から大ホールに通じるエレベーターについて、令和7年4月21日の修理実施以降、現在は稼働している。
市民会館 ・施設は古いが館内がきれいに掃除されている。	お客様の目線に立った「おもてなし」の心で日常清掃を徹底し、「お客様の感動」に繋がる快適な環境づくりに努める。
文化センター ・工事が終わったのでまた利用させてもらいます。	令和6年度及び令和7年度の一部期間に休館を伴う空調及び排水管の工事を実施したが、令和7年3月の工事完了以降、現在は全館利用可能である。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<p>市民会館は、施設利用者数の達成率81.9%、使用件数の達成率76.0%、実演芸術公演の達成率90.3%、施設稼働率（楽屋除く）は78.5%、大ホール稼働率（平日）の達成率103.2%、大ホール稼働率（土日祝）の達成率101.7%であった。</p> <p>前年度に比べ使用件数・実演芸術公演件数ともにわずかではあるが増加した。</p> <p>ただし、大ホールの稼働率については平日・土日祝日ともに昨年度よりわずかではあるが減少している。要因として近隣の文化施設が改修工事を終え、貸出を再開したことによると考えられる。</p> <p>文化センターは、施設利用人数の達成率66.6%、使用件数の達成率71.7%、施設稼働率（楽屋除く）は70.7%、ホール稼働率（平日）の達成率81.8%、ホール稼働率（土日祝）の達成率98.1%、アーティストバンク登録者数23件であり、年度目標の153.3%であった。文化センターでは前年度に引き続き空調設備改修のため、ホールが約2か月、会議室が約3か月、市民サロンと和室を約2週間程度休館した影響もあり、施設利用人数及び使用件数の達成率が伸び悩んだ。</p> <p>なお、指定管理者として、ホールの30日前割引や市民会館大・小ホールセット割引、特別会議室控室割引、文化センタースタジオⅡ等の学生割引を周知することで、施設の稼働率の向上に努めた。</p> <p>また、企画提案業務においては、脚本から出演まで市民が主体となって取り組んだ「市民創作ミュージカル」を実施するなど、第3次千葉市文化芸術振興計画に掲げる「多彩な文化芸術に触れる機会の拡充」の施策である文化芸術活動を体験する機会の促進に努めた。</p>
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<p>各項目から算定する全体評価の目安としてはD評価となるが、市民会館大ホールの稼働率及びアーティストバンクへの登録者数は目標値を上回っており、鑑賞や文化振興の拠点という各施設のミッションに対する成果として平均以上の評価を得られたと言える。</p> <p>また、施設管理については、管理運営の基準に基づく運営が行われており、設備・備品の点検において職員が代替部品で修理を行い維持するなど、老朽化した施設の中でも市民サービスを損なうことなく、円滑な施設運営を行っている。</p> <p>さらに、利用者及び来場者アンケートにおいて、満足度として一定の評価を得られていることを踏まえ、各施設に求められた役割に応じた良好な管理運営を行っているとの総合的に判断し、C評価とした。</p> <p>今後は、アーティストバンクのさらなる活用や、魅力的な企画提案事業を検討・実施、諸室の多目的な利用の促進などで、市民の文化芸術活動を支援し、利用者数の増加や施設稼働率の向上につなげられたい。</p>
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>ア 市の作成した年度評価案の妥当性について</p> <p>市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。</p> <p>イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について</p> <p>(ア) アーティストバンクの登録者数や、市民会館の大ホールの稼働率が目標値よりも上昇した点は評価できる。</p> <p>(イ) 千葉市民会館について、例年の課題ではあるが、特別会議室の稼働率が低いため、引き続き多様な用途への改修を含め具体的な利用促進策を検討されたい。</p> <p>(ウ) 千葉市文化センターについて、アーティストバンクが市内の自治会や医療介護施設等へのイベント企画などを通じてその魅力を発揮している点は評価できる。</p> <p>(エ) 千葉市文化センターの工事完了後も、利用者数の推移を検討したうえで着工前の利用者のリピート率向上に努められたい。</p> <p>(オ) 小ホールの椅子について、利用者目線での環境整備に努められたい。</p> <p>(カ) 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、収益性が低いことが懸念されるものの、事業継続が直ちに困難になるとは考えにくく、倒産、撤退のリスクはないと判断される。</p>
